

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎げんき館
施設の設置目的、 役割	健康増進施設
施設の所在地	岡崎市若宮町2丁目1番地1
施設規模	敷地面積：13,263.56㎡ 建物面積：7,563.25㎡
指定管理者	名称：岡崎げんき館マネジメント株式会社 所在地：岡崎市若宮町二丁目1番地1 代表者：鈴木 隆博
指定期間	平成20年3月1日～令和15年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況及び実施計画

〈イベント〉

項目	実施日 (予定日)	人数	内容
四季イベント 夏のげんきまつり	7/30	0	ふれあい夏まつり(盆踊り等)
	8/29	164	子ども育成ゾーン夏まつり
小計		164	
四季イベント 秋のげんきまつり	10/15	2	すこやかキッズ体操 体験会
		16	ボクシングエクササイズ
		5	パワーヨガ
	10/16	24	健幸かるた大会(保健企画課)
		28	血管年齢・握力測定(健康増進課)
		15	しなやかストレッチ①②(市民会議)
		55	郷土料理「鬼まんじゅう」を作って味わおう!(市民会議)
		55	歩幅を知ろう!(市民会議)
		19	姿勢改善、美ウオーク!筋力アップ!若々しい身体づくり教室
		18	体験ヨガ!深く呼吸をしてみよう!
18	かわいいタン布林づくり		
小計		255	

四季イベント 冬のげんきまつり	1/8	6	すこやかキッズ体操 体験会
		12	子ども体力測定 わんぱく度チェック
	1/9	25	名古屋グランパス幼児サッカー体験(年少)
		22	名古屋グランパス幼児サッカー体験(年中)
小計		65	
四季イベント 春のげんきまつり	3/11	4	子どもげんきクラブ『鳥との会話に挑戦しよう!』
	3/12	27	愛知学泉大学ちっちゃなコンサート
		8	キッズダンス体験会(初級)
		16	エアロビクス(中級)
		11	スラックライン体験会
小計		66	
げんきマナー	通年	499	
小計		499	
読み聞かせ	10回	190	おはなし・あっぴっぴ
小計		190	
合計		1,239	

(インフォメーションウォール)

項目	展示期間	展示数	内容
インフォメーション ウォール	6/13~	5	第1回「生き物」写真(小学生~一般)
	10/10~	5	第2回「生き物」写真(小学生~一般)
	2/13~	5	第3回「生き物」写真(小学生~一般)
合計		15	

(職業体験)

実施日	学校名	学年	人数
6/20~7/1	愛知教育大学附属特別支援学校	高等部3年生	1
9/27~10/7	愛知教育大学附属特別支援学校	高等部3年生	1
10/11~13	岡崎市立常盤中学校	2年生	3
10/17~19	岡崎市立岩津中学校	2年生	4
11/7~9	岡崎市立矢作北中学校	2年生	4
11/29~30	岡崎市立北中学校	2年生	2
合計			15名

(2) 事業実施に対する自己評価

新型コロナウイルスの影響により依然として一部の利用制限を行いながらの運営となりましたが、昨年度に引き続き『これまでと違うかたちで』『でき得ることから少しずつ』という考えのもとで、様々なイベントを開催しました。

四季イベントとして夏・秋・冬・春4回の『げんきまつり』開催を企画しましたが、根石学区によるふれあい夏まつりは新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりました。時期をずらして実施した子ども育成ゾーンによる子ども夏まつりについては十分な感染対策のもとで実施することができました。小学生ボランティアの参加もあり、賑やかな夏まつりが少しずつ戻ってきた印象です。

秋のげんきまつりについては、令和元年度以来ようやく岡崎市様・岡崎げんき館市民会議様・SPCの三者共同による開催となりました。岡崎市様企画の『健幸かるた大会』では読み札の内容を市民から募集して厳選するとともに、対象の絵札を子ども育成ゾーンで作成するといった初めての試みの中で準備を進めました。また当日の進行は学生ボランティアの力を活用して賑やかに実施することができました。SPCの実施した『姿勢改善、美ウォーク！筋力アップ！若々しい身体づくり教室』では普段の姿勢チェックや正しい歩き方等のレッスンを行い、受講されたかたに市民会議様主催の屋外イベント『歩幅を知ろう！』の紹介をするなどしておまつり全体を盛り上げる工夫をしました。

冬のげんきまつりでは、子ども体力測定や名古屋グランパス幼児サッカー体験等、子ども向けのイベントを中心に行いました。利用後のアンケートでも好評をいただいております。こうした当日参加型の体験プログラムに対する市民の関心の高さを改めて知る機会となりました。

春のげんきまつりでは、愛知学泉大学によるコンサートイベントを4年ぶりに再開することができました。またスラックライン体験会は初めての試みとなり、参加者には大変興味を持っていただけたようです。こうした新しい競技に触れる機会を提供できたことについて、改めて岡崎げんき館のきっかけづくりとしての役割を認識することに繋がりました。

令和3年度に開始した親睦テニス大会に関しては今や恒例行事となりつつあります。新型コロナウイルスの影響により屋外で安全にできるイベントを検討していく中で生まれた本大会が、現在では市民の交流の場となって賑わいを創出しています。「コロナ禍において如何にしてイベントを開催していくか」という創意工夫の必要性を課題としていましたが、事業者としてでき得る最大限の対策や工夫を行い、これまでとは様式をかえて事業展開をすることで、自らの課題に向き合うことができました。

市内の中学生及び特別支援学校を対象とした職場体験学習については、受け入れをする従事者側の体調確認や消毒作業を徹底して行い、生徒たちに対する感染対策を万全にして応じました。スポーツや保育に関わる仕事に関心を持つ生徒が多く、健康づくりゾーンのトレーニングジムやスタジオ、子ども育成ゾーンの業務に触れる機会を提供できました。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

新規登録数	3,322人
-------	--------

施設		人数
健康づくり ゾーン	自由利用	50,792
	教室利用者	59,834
	見学者	249
	健康広場（フットサル）	2,193
	健康広場（テニス・サッカー）	11,422
	小計	124,490
子ども育成 ゾーン	プレイルーム	3,457
	子育て相談	181
	プレイホール	13,789
	利用者向け託児	1,094
	病後期一時託児	68
	小計	18,589
市民交流 ゾーン	和室	2,825
	市民活動室	6,558
	多目的室	15,545
	調理実習室	3,349
	市民ギャラリー	7,810
	講堂	0
	情報ライブラリー	30,356
	小計	66,443

保健衛生 ゾーン	総務企画係（窓口受付・取次件数）	364
	医務指導係（窓口受付・取次件数）	1,553
	施設整備係（窓口受付・取次件数）	586
	環境衛生係（窓口受付・取次件数）	1,926
	食品衛生係（窓口受付・取次件数）	2,452
	感染症対策係（窓口受付・取次件数）	3,610
	予防接種係（窓口受付・取次件数）	2,785
	新型コロナワクチン接種推進室（窓口受付・取次件数）	7,220
	食育栄養係（窓口受付・取次件数）	416
	健康増進係（窓口受付・取次件数）	2,342
	母子支援係（窓口受付・取次件数）	757
	母子事業係（窓口受付・取次件数）	393
	こころの健康推進係（窓口受付・取次件数）	531
	市役所（窓口受付・取次件数）	645
	動物総合センター（窓口受付・取次件数）	251
	食品衛生協会（窓口受付・取次件数）	681
	その他（窓口受付・取次件数）	86
小計	26,598	
合計	236,120	

（２）利用状況に対する自己評価

健康づくり支援事業では、今年度の自由利用者・教室利用者・フットサル利用者・テニス・サッカー利用者を含めた総利用者数が 124,490 人となり、昨年度（145,279 人）と比較して 20,789 人の減少となりました。

天井改修工事により 10 月から 3 月までプールエリアが休業となり、利用人数に大きな影響を受けました。またプール・トレーニングジムにそれぞれ定員を設け、教室の定員も削減しての運営でした。しかしながら令和 3 年度と同程度のプール利用があったと仮定した場合には、事業開始当初の計画で想定した 15 万人/年と同程度の利用者人数となり、現在の総利用人数は概ね適正であると考えます。

子ども育成支援事業では、新型コロナウイルス感染対策としての定員や入場時間の制限

を設けて運営しました。様々な制限が強いられる日常の中でおまつりやイベントを切望される声も多く、今年度は夏まつりを実施しました。感染対策として時間ごとの入れ替え制で行い、久しぶりのおまつりを楽しむ親子の様子が大変印象的でした。

カリキュラムについては終日実施して親子で楽しめるようにスタッフ一同で企画考案に努めてまいりました。

子ども育成ゾーンの総利用者数は 18,589 人（昨年度 15,247 人）と回復傾向にあります。次年度も世の中の情勢を確認しながら必要な消毒・清掃にかかる時間を確保した上で、安全安心してご利用いただける環境づくりやイベント企画を検討してまいります。

市民交流ゾーン総合受付では、利用者カード発行と施設の利用方法の説明、貸室の予約と貸出、施設の案内、各種お問い合わせ対応等の業務を行いました。施設の顔として明るく親切丁寧なご案内を心がけました。

新規の利用者カードの発行数は 3,322 枚（前年度 3,330 枚）となりました。

貸室については利用時の新型コロナウイルス感染症対策として利用同意書の記入を求め、検温や手指消毒等を積極的に呼びかけ、市を代表する施設として細心の注意を払いました。

また今年度も引き続き講堂に保健予防課、子ども健診コーナーに新型コロナワクチン接種推進室がそれぞれ設置されており、幼児健診事業が多目的室で実施されました。したがって貸室における一般の利用者数が従来と比較して減少していることはやむを得ない事態と捉えます。

情報ライブラリーでは本の貸出、返却、予約、物流、新規登録、レファレンス、AVブースの貸出業務を行いました。

今年度は昨年度と比較して貸出人数・貸出冊数・返却冊数が約 7.1%減少しました。天井改修工事に伴うプール休業により、プール利用者が立ち寄る機会がなくなったことが原因と考えられます。新型コロナウイルスによりさまざまに生活様式が変化した状況において、いわゆるおうち時間を過ごすために貢献した情報ライブラリーを今後も広く周知してまいります。そのためにも新規登録でご来館の方へ「図書室利用案内」・「図書室カレンダー」等を配布し、図書室の認知度アップに向けた取り組みをさらに継続してまいります。

また毎月の特集コーナーによる本の紹介を令和 4 年度も継続して実施しました。一般的に関心が高まるテーマに合わせて、利用者が通る出入口付近に特集コーナーを設けています。多くのかたに興味を持っていただくとともに、その分野の本を一か所にまとめることで検索時間を短縮することにもつながっています。

保健衛生ゾーンでは、各種申請の受付業務、目的に対する案内・説明、電話対応・取次ぎ、健診の受付、予防接種の接種券受付、各種申請入力業務、発送業務、カルテ・受診票のチェック等の業務を行いました。

令和 4 年度からの業務として、アピアランスケア用品購入費補助金交付申請の業務が加わりましたが、窓口スタッフが申請業務の内容を十分に理解して対応することができました。各申請にはそれぞれ提出期限があることから、年間を通して来所者数に波があります。日によっては窓口が混み合う場合もありましたが、大きな苦情等なく対応する事ができました。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入		348,893,610
	利用料金収入		19,852,770
	事業収入		67,755,980
	便益施設に関する 収入	喫茶室、レストラン、売店、自動販 売機収入	8,832,474
	その他収入		4,287,176
収入 計			449,622,010
支 出	直接管理運営費	直接人件費、光熱水費、消耗印刷費、 修繕費、清掃等委託料、保険料等	359,355,424
	(うち修繕費)	※精算項目	(15,166,478)
	事業費	事業に係る経費	78,645,143
	その他	本部経費、租税公課、当期剰余金等	11,621,443
支出 計			449,622,010
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

新型コロナウイルスの感染対策やプール天井改修工事による休業が収支にも大きく影響しました。

収入面では提案教室の定員を減らして安全を確保して実施しました。またプール天井改修工事によりプール教室についても半年間休講となりました。その結果、自主事業の収入はコロナ禍以前と比較して減少しています。

支出面では館内の消毒作業に係る消耗品費用や人件費が増加しております。また光熱水費の高騰については想像をはるかに上回る影響を受けました。

4 利用者アンケート結果

(1) 実施概要

実施期間	回答者数	アンケート実施方法
2022年9月1日～9月14日	299枚	各ゾーンにてアンケート用紙を配布。総合受付にて一括回収。

(2) アンケート結果概要

令和4年度は9月1日～9月14日に利用者アンケートを実施しました。

市内利用者が96.7%を占める結果となりました。

回答者の年代は60代が最も多く、続いて70代、40代という順でした。

交通手段は前回に引き続き8割以上が自家用車であり、続いて徒歩、自転車・バイクが同数程度という結果でした。

利用頻度については週に1回以上の利用者が8割以上を占める結果となり、概ね例年通りとなります。

スタッフの接客や対応については93.6%の回答者が「非常によい」・「よい」と回答しており、清潔さについて「非常によい」・「よい」という回答が82.6%、同様に施設の雰囲気については76.6%という回答でした。

今後の利用について「また利用したい」は86.6%を占めました。

自由記入欄にはコロナ禍以前に実施していたイベントやおまつりを希望される声も聞かれました。様々に工夫を凝らしてでき得ることから始めているイベントについては相応の好評をいただいておりますが、こうした以前の様式に対する期待も大切にしていよいよ良いイベント企画に努めてまいります。

また施設での検温・手指消毒の実施や除菌作業などの感染対策の徹底について好評いただくご意見がある一方で、行き過ぎた消毒に対して手荒れ等を心配する声も聞かれました。さまざまな制限に対して緩和を検討する段階にあることは事実ですが、単に従来の様式に戻すことを目的とするのではなく、全てのかたに安心してご利用いただける運営方法を目指す必要があると実感しました。

(3) アンケート結果に対する自己評価

「スタッフの接客や対応」「清潔さ」について8割以上の皆様に「非常によい・よい」との回答をいただき、大変多くのかたにご満足いただいていると捉えております。

特に子ども育成ゾーンスタッフの対応やプールスタッフによる声かけ等にお褒めの言葉やお気遣いをいただけたことは、運営事業者として大変な励みとなります。そうしたご期待に添えるように常に明るく優しい対応を心がけ、感染対策としてでき得る全てを行いつつながら安全安心な施設環境を提供してまいります。

一方で現在行っている利用制限の見直し、停止していた定期券の再開等を求められるご意見も目立ちます。いただいたご意見を参考としながら、貴市との協議を綿密に行い、段階的規制緩和や施設のさらなる充実を検討してまいります。

5 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

健康づくり支援事業では、新型コロナウイルス感染症対策として入場時の検温と手指消毒の実施、人数制限等を行いました。流行して以降継続して実施している感染対策となりますが、ご利用の皆様にもしっかりと浸透してご協力いただけたことが実感できます。

一般利用や一部教室の定員数変更、中止していたフリーウエイトエリアの再開等、社会情勢やガイドラインと照らし合わせながら少しずつ制限緩和を行いました。フリーウエイトエリアについては閉鎖していた期間が2年以上となるため、改めてスタッフへの研修を十分に実施した上で再開しました。

また今年度は運動のきっかけづくりに寄与することを目的として、無料おためしコースの充実を図り、1DAYレッスンと称して毎月様々な体験レッスンに触れていただく機会を設けました。参加されたかたの一部にはおためしで挑戦したレッスンをお気に召して、類似した定期教室にお申込みされるケースもあり、新しい運動のきっかけづくりにもなったようです。

今後も新型コロナウイルスとの共存が続くこととなりますが、ガイドラインに則した感染症対策を行いながら、市民の皆様によりよいサービスを提供できるよう努めてまいります。

子ども育成支援事業では、来館者向けカリキュラムを終日実施して、親子で楽しめるように内容を工夫しました。季節に応じた制作カリキュラムを考え、来館される毎日が親子にとって特別な日となるように心がけてお迎えをしました。

看護師・子育てアドバイザー・保育士による相談は、ご利用の皆様安心して且つ気軽に相談事をお申し付けいただける雰囲気づくりに努めました。

次年度においても来館者にわかりやすい利用案内を行い、イベント・カリキュラムの告知を実施して多くのかたにご利用いただけるように努めてまいります。

市民交流ゾーン総合受付では、利用者カードの発行や、各ゾーンの案内・説明、電話対応、貸室の予約・貸出といった業務を滞りなく行うことができました。

貸室業務においては保健所・SPCの事業や各ゾーン間の利用調整に努め、一般利用の皆様にも新型コロナウイルス感染対策のお願いを徹底しながら貸室予約受付を行いました。

また、保健所とSPCの間で毎月の事業予定の確認と修正を綿密に行い、ご利用の皆様に対してより詳細かつ丁寧な案内に努めることができました。

市民交流ゾーン情報ライブラリーでは、書籍等の貸出、返却、予約、物流などの図書館業務を滞りなく行なっています。

物流で取り寄せた予約資料について、今年度は24,862冊の貸出があり、前年度25,318冊とほぼ同等の利用がありました。この数字は新型コロナウイルスのまん延以前と比較しても大幅に増加しており、市民にとって現在の生活様式における情報ライブラリーの必要性を改めて実感しました。引き続き利用者の皆様のご要望に應えるため、円滑な受付業務と正確なご案内に努めてまいります。

毎月の特集本や新着図書コーナー等、現在図書室に並んでいる資料も盛んに利用されていますが、開館から15年が経過し、図書が書架に入りきらない事態も生じています。内容が古く利用の少ないもの等は利用者への譲渡を視野に入れて、所蔵資料を更新していく作業を推進してまいります。

中学生以上を対象とした文学作品や、歴史・社会の図書など、所蔵のない分野の資料をお求めになるかたには予約取寄せサービスを紹介しながら、引き続き魅力ある資料の購入に努めていきます。

保健衛生ゾーン保健所受付では、来所者の待ち時間を少しでも短縮できるよう以下の内容を実施しております。

受付窓口にて来所の目的やご要件をお伺いし、SPCで対応する内容については番号札をお渡しして順番にお待ちいただきます。保健所職員が直接対応する内容につきましては、所定の窓口へご案内して担当係の職員にてご対応いただきます。いずれの受付業務についてもでき得る限り来所者の待ち時間を短縮できるよう、窓口での来所者へのお声かけを積極的に実施して混雑緩和を心掛けて実施することができました。

新型コロナウイルスの感染状況が心配される中での運営であったため、皆様に安心してご利用いただくため、窓口のカウンター、椅子、筆記用具、番号札等の消毒を適宜行いました。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

健康づくり支援事業では、各期の教室の最終回に受講者アンケートを実施してニーズの掘り起こしを行っています。アンケート結果をもとに教室のバリエーションやコマ数、実施時間帯など、多くの顧客ニーズに可能な限り応えてまいりました。

提案教室では幼児向け体操教室の新設を行い、マットや鉄棒を使いながら遊びの中で楽しく身体を動かす機会を提供しました。また天井改修工事により運動の機会が失われることを心配する声が聞かれたため、全身運動を望むプール利用者にも適したボディメンテナンスの教室を期間限定で設置しました。日常的にプールのみを利用されるかたにとっては、スタジオ教室に触れる新しいきっかけになったようです。

必須提案教室ではプールの天井改修工事に伴う代替教室として、受講者のターゲットを大きく変更した『託児付き産後ママリフレッシュ教室』を実施しました。げんき館の施設と仕組みを最大限に有効活用した同教室は大変好評をいただき、令和5年度も継続して実施することが決定しました。貴市との協議を何度も重ねて、大切に作り上げた教室がこうして定着していく様には達成感を覚えます。

自由利用について今年度は50,792人（昨年度57,275人）の利用がありました。半年間のプール休業の影響を鑑みると利用者数は増加傾向にあるといえます。次年度はいよいよ新型コロナウイルスによる定員制限は廃止して運営することになりますが、ガイドラインに則した感染対策を講じて安心安全な施設環境をつくってまいります。昨年度と比較して利用者数は増加傾向にあるといえども、令和元年度以前の年間20万人を超えるような利用人数には戻っていません。しかしながら教室利用を含めた健康づくりゾーン全体の利用者数が15万人弱という結果を見ると、引き続き現在の利用者数が適正と考えます。

今年度の新規登録者数は3,322人でした。岡崎げんき館のコンセプトである「運動習慣の無い方へのきっかけとなる運動施設」の役割を全うし、多くのかたにご利用いただくことを喜ばしく思います。

子ども育成支援事業では、新型コロナウイルス感染防止のために換気やおもちゃ等の消毒作業を徹底して行い、ご来館の皆様が安心安全に楽しく遊べるように努めました。また施設内を目で見え楽しめるように、季節に合わせた壁面の飾りつけを工夫して作成しまし

た。

危険箇所の点検についても毎日行い、来館者にも注意喚起の声掛けを徹底しました。

今後もご来館の皆様に対してより一層の心配りを行い、施設を楽しみ気軽に相談できる環境づくりを目指してまいります。

市民交流ゾーン総合受付には、市の公共施設という場所柄から多種多様な問い合わせが入ります。イベント・健診・講座などの情報を収集し、お問い合わせへの丁寧且つ速やかな対応に努めています。

また、新型コロナウイルスの影響により各ゾーンにおいて新しい利用ルールを設けて運営していますが、ルール更新の度にスタッフ間の周知を徹底して市民への正確なご案内に努めました。

市民交流ゾーン情報ライブラリーでは、他館からの図書館資料を取り寄せる予約サービスを活用する利用者が定着しており、物流の利用が盛んになっています。岡崎げんき館のホームページ上に中央図書館作成の新刊紹介や新着資料へのWebリンクを掲載し、予約する際の参考情報の提供に努めています。

プールやサッカー教室に通うお子様を連れてきたかたの利用も多く、絵本だけでなく小学生向けの読み物や知識の本に対するニーズの高さがうかがわれます。今後も、絵本・読み物・知識の本、子ども向けのCD・DVDの購入を継続し、「本に親しむ機会を作りたい」「運動能力や情操面での成長を促したい」「しつけや家事遂行能力といった自立性を高めたい」という保護者のニーズにも応えてまいります。

大人向けの一般書では、食事や運動・スポーツを通じた健康づくりをテーマとするものや、育児、趣味・手芸や暮らしに関するもの等の中から、より快適で充実した生活の実現に向けて参考となるよう、新しく魅力的な一般書の選書を続け、大人のかたも継続的に利用していただけるよう注力してまいります。

保健衛生事業では、様々なかたが来所されます。

各種予防接種に関する申請や免許等の申請あるいは交付に加え、疾病に関する相談やその疾病に対する申請など、幅広い年齢から複雑な内容までの対応が求められます。

窓口では来所者の立場に立ち、分かりやすく丁寧な説明を行うよう心がけました。

また、初めての来所者に分かりやすいような案内掲示を作成して誘導を行うとともに、お困りのかたや迷われていらっしゃるかたには積極的にお声掛けをして対応しました。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

意見箱でいただいた意見などに対しては、各担当者と協議の上で回答を掲示板に貼り出しています。

ホームページからEメールでいただいたご意見などに対しては、各担当者と協議の上で回答を作成し、Eメールにて返信しています。

今年度もさまざまにご意見をいただきましたが、利用者目線でいただく運営のアイデアとして大変貴重な内容もありました。すぐに対応できるものは即刻取り入れることを心がけて、市民と共により良い施設環境の構築を目指して取り組みました。